

# 一 般 質 問

発言者 五 条 陽 子

発 言 の 要 旨 (その1)
1 高松市中心市街地の活性化について
(1) どこ駐車ナビ高松の活用
① 中心市街地の昼夜にわたる官民駐車場利用の現状
② どこ駐車ナビ高松の民間駐車場との連携や市民への利用周知等、さらなる活用につながる取組
③ 自動車交通の円滑化と利便性を高めるために、広島県廿日市市・三重県伊勢市などの先例のごとく、どこ駐車ナビ高松のデータとカーナビを連携させて、渋滞ゼロ社会を目指す考え
(2) 中央商店街とサンポート地区の回遊性向上と、経済効果の現況
① 高松中央商店街新規出店補助金の、過去5年間の利用件数
② 補助金を活用して出店した店が、1年後・2年後と営業を継続しているか確認する考え
③ 中心市街地活性化基本計画の目標指標に第3期まで入っていた、新規出店数やことでん3駅の乗降客数を第4期に含めなかった理由
④ 空き店舗率について、計測しているのに目標指標としない理由
⑤ 2月以降の中央商店街とサンポート地区との相互の人流の変化や経済効果として、把握されている現況
(3) 広島市のようにパーク・アンド・ライドを推進し、マイカーと公共交通機関相互が有機的に機能できる仕組みの検討
(4) バリアフリー社会構築を目指す中、合理的配慮に基づいた誰にも優しい回遊性向上について取り組むべきと考えるがどうか。
(5) 中心市街地と一体化を目指す、サンポートガーデンプロムナード
① 緊急輸送道路として定められている本市道において、この名称は実に実態にそぐわないものと考えるがどうか。
② 高齢化が進み高齢化率38%、人口密度は本市でもトップクラスの海岸周辺にお住まいの4,000人を超す市民生活への影響は、どのように捉えるのか。
③ 災害発生時に国の合同庁舎から出動する、国土交通省のTEC-FORCEな

発言の要旨(その2)

どの支援部隊の動線に支障を来す可能性があるのではないか、また、今後の関連施策の見通し

(6) 人が集まる時、所に対しての災害対策

- ① 昨年度の花火大会において、南海トラフ地震臨時情報発令下、本市としてどのような災害対策計画と対応がなされたのか。
- ② さぬき高松まつりの主催者として、混雑時の雑踏警備や緊急時の避難誘導體制をどう対策するか。

2 DX社会の便利さと危険性について

(1) 非常時の高松市立みんなの病院の医療体制

- ① 医療機器や電子カルテの稼働に必要な電力が、約何日間供給できる見通しとなっているか。
- ② 電子カルテの情報が、各種ウイルスにより読み出せなくなるなどの障害発生時の対応

(2) 市立小中学校における情報セキュリティー

- ① 現在のネットワークシステムの運用状況
- ② 指導要録等のように、重要かつ長期保存が定められている諸表簿の電子データの管理